

松本室内合奏団

第63回定期演奏会

PROGRAM

◆ハイドン

チェロ協奏曲 第2番 二長調 Hob.VIIb:2

◆シューベルト

交響曲 第8番 ハ長調 D.944 「Great グレイト」

指揮・チェロ独奏

山本 裕康

松本市音楽文化ホール・メインホール

2024年6月30日(日)

開演 14:00 (13:30 開場)

入場料：1000 円

主催 松本室内合奏団

後援：長野県・長野県教育委員会・松本市・松本市教育委員会・(公財) 八十二文化財団

信濃毎日新聞社・SBC 信越放送・市民タイムス・長野エフエム放送・(公社) 才能教育研究会

プレイガイド：松本市音楽文化ホール・井上プレイガイド・ミュージックプラザオグチ

問い合わせ matsushitsu@gmail.com

Profile

指揮・チェロ独奏 山本 裕康

愛知県出身。スズキ・メソードでチェロを始め、中嶋顕氏に師事。桐朋学園大学で井上頼豊、秋津智承、山崎伸子の各氏に師事。在学中 1987 年第 56 回日本音楽コンクール第 1 位、第 1 回淡路島国際室内楽コンクール第 2 位入賞、第 1 回日本室内楽コンクール第 1 位など数々の受賞歴を持つ。同大学を首席で卒業後、桐朋学園研究科ではピュイグ・ロジェ、キジアーナ音楽院でリッカルド・ブレンゴラーの下で室内楽の研鑽を積む。1990 年東京都交響楽団首席奏者に就任。1994 年退職後広島交響楽団の客演ソロ・チェロ奏者を経て 1997 年より 2019 年まで神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者を務める。同楽団とはハイドン、シューマン、ドヴォルザーク、グルダ、コルンゴルト、リヒャルト・シュトラウスのドン・キホーテなど多数の協奏曲をソリストとして共演し、いずれも好評を博した。

サイトウ・キネン・オーケストラ、宮崎国際音楽祭に毎年参加、トリトン第一生命ホールの「晴れた海のオーケストラ」やチェンバーソロイツ佐世保のメンバーでもある。また室内楽の分野でも欠く事の出来ないチェリストとして著名な演奏家との共演も多い。

チェロカルテット Cello Repubblica の主宰や、宮川彬良氏と教育プログラムの 2 人のユニット「音楽部楽譜係」、生まれ故郷である名古屋で「大人の室内楽研究所」を立ち上げ、地域の文化向上をライフワークとするなど、活動は多岐に渡る。2008 年のバッハの無伴奏チェロ組曲全曲に続き、2012 年に発表したアルバム『情景』はレコード芸術誌上で準推薦盤の評価を得た。

現在、東京音楽大学教授、京都市交響楽団特別首席奏者、スズキ・メソード特別講師、東京藝術大学非常勤講師。日本チェロ協会理事、みやざきチェロ協会名誉会員。



© Hikaru.☆

松本室内合奏団

Matsumoto
chamber
Ensemble

1989 年 2 月、13 名の弦楽器奏者が集まり結成された。「団員どうしが楽しく交流することはもちろん、純粋に音楽を楽しみ、また、より質の高い演奏を目指す」という指針をかげ、現在は県内外より約 50 名の団員が集まり、2 管編成のオーケストラとして、年 2 回の定期演奏会を中心に活動が続けている。また、松本地域の音楽文化向上のため、他の演奏団体との交流も積極的に行っており、2005 年 7 月には第 6 回定期演奏会より始まったベートーヴェン交響曲チクルスの集大成でもある「第 9 番」を信州あづみ野音楽祭にて、広上淳一氏の指揮のもと演奏。2006 年はモーツァルト生誕 250 年にあたり、指揮に横島勝人氏を迎えオールモーツァルトプログラムに取り組んだ。2010 年には「みんなの第九コンサート」で小林研一郎氏と共演。また、まつもと市民オペラ、第 1 回「こうもり」、第 2 回「椿姫」、第 3 回「魔笛」、第 4 回「カルメン」、第 5 回「フィガロの結婚」、第 6 回「ちゃんちき」のオケを務める。2011 年、松本市音楽文化ホール 25 周年記念演奏会に出演、久保田巧、鈴木学氏と共演。2015 年の 30 周年記念演奏会にてヴァイオリンの安永徹氏と共演し好評を博す。

自らの研鑽を積むことを目的に、一流演奏家との共演も多く行っている。今までに、ヴァイオリンの宗倫匡、徳永二男、豊嶋泰嗣、ジェラルド・プーレ、チェロの林峰男、山崎伸子、ピアノの清水和音、若林顕、ハープの吉野直子、オルガンの保田紀子、ホルンの大野総一郎、ウィーンフィルのホルン奏者ヴォルフガング・トムベック各氏と共演、いずれも好評を博す。

<https://mmce.exblog.jp>